

1 題材名 和楽器の音楽に親しもう ～「春の海」の鑑賞～

2 題材のねらい

音色，問いと答え，旋律に着目し，それぞれを比較しながら聴くことを通して和楽器の音楽のよさや演奏の特徴に気付く力を育む。

3 授業の構想

子ども達はこれまで和楽器で演奏された曲に触れることがあまりなく，聴いたことがあったとしても，実際に目の前で演奏を聴いたことがある子どもはごくわずかである。このような実態から，まずは和楽器の音楽の特徴の一つ一つ触れさせることで，その特徴を手がかりに曲全体のよさや変化を感じ取って聴くことができる力を育みたいと考えている。

楽曲「春の海」(宮城道雄作曲)は，日本の伝統的な楽器である箏と尺八で演奏されている。箏と尺八の掛け合いによって，瀬戸内の春の海の情景を描写的に表現している。この曲は，これまで和楽器の音楽との出会いが少ない子どもたちにとって，2つの楽器の音色を聴き比べられたり，旋律の特徴を聴き取ったりすることに適した題材であるといえる。また，曲の前半では，それぞれの楽器の特徴を生かした節回しやかけ合いが聴き取れることから，和楽器の音楽独特の間合いを生かした表現に触れることができると考えている。単元の最後には，5線譜と邦楽特有の楽譜を提示し，楽譜（記譜）では表しきれない表現にも触れることで，和楽器の音楽のよさに気付かせたい。

本題材の展開としては，次のような点を大切にしていきたい。

**音楽を形づくっている要素を一つ一つ焦点化させる**

今回は，音色，問いと答え，旋律に焦点を絞って鑑賞を進める。1時間の授業で全ての要素とのかかわりに触れるのではなく，一つ一つ取り上げていく。取り上げる順番は，感じ取りやすいと思われる音色から取り上げ，問いと答え，旋律と続ける。このように展開していくことで，楽曲の構造を理解しながら聴く能力を育むことにつなげたい。

**聴き取ったこと，感じたことを再構築する活動を取り入れる**

これまでの既習曲にはない独特の雰囲気や響きを感じ取り，感じたことを言葉だけで伝えることは難しいと考える。そこで，曲の変化に気付いたときに手を挙げたり，箏と尺八のカードを持たせて，それぞれの楽器の音色が聴こえたときにそのカードを挙げたりしながら，個々の気付きを表現できるよう，段階的な学びを促したい。また，聴き取ったこと，感じたことを伝え合う手段にもなると考える。

4 展開計画（全3時間 本時3/3）

- 題名や曲を聴いてイメージをもつ。箏と尺八の音色の違いを感じ取る（1校時）
- 箏と尺八の旋律の掛け合いを聴き取る（2校時）
- 箏と尺八の旋律の特徴を見つけ，それによって醸し出される雰囲気やよさを感じ取る**  
（3校時・本時）

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

和楽器の音楽独特の演奏の仕方（休符，間の取り方）に気付き，それによって醸し出される雰囲気やよさを感じ取ることができる。

### (2) 展開

| 主な学習場面と子どもの取組  | 教師の支援と願い・評価  |
|--|--|
| <p>1. リズム遊びをする。（常時活動）</p> <p>2. 前時までに学習したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことと尺八の音色の違いが分かった。</li> <li>・ことと尺八の旋律が交互に出てくるところがあつて，聴いていて面白かった。</li> </ul> <p>3. 本時のめあてを確認する。</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の基礎的な能力を養うために，音楽を形づくっている要素を感じ取れる活動を行う。</li> <li>・前時までの学習を振り返り整理することで，本時での新たな旋律の特徴を見つける活動につなげたい。</li> </ul>   |
| <p>ことと尺八の旋律の特徴をもっと見つけよう。</p>   |  |
| <p>4. 一般的な「春の海」の演奏と5線譜通りに演奏した「春の海」とを聴き比べて，間の取り方の違いを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったり演奏していたところがなくなった。</li> <li>・休符が短くなった気がする。</li> <li>・旋律の間がなくなった。</li> <li>・海を表現している感じがしない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の伸び縮みや間の有無をより感じやすくするために，聴き比べをする。</li> <li>・間のある演奏と間のほとんどない演奏を聴き比べることで，独特の間によって，演奏にどんな効果が生まれているのかに気付かせる。</li> <li>・邦楽の楽譜と5線譜でかかれた楽譜とを比較し，同じ曲でも，記譜の仕方が全く違うこと，楽譜では表現できない独特のリズムの取り方があることなどに気付かせる。</li> </ul> |
| <p>5. もう一度「春の海」を聴き，感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに聴いたときより曲の特徴がよく分かるようになった。</li> <li>・ことと尺八の旋律のかけ合いが曲全体を通して聴こえていておもしろかった。</li> </ul>   | <p>【評価の観点（鑑賞の能力）】</p> <p>和楽器の音楽独特の演奏の仕方（リズム，間の取り方）に気付き，それによって醸し出される雰囲気やよさを感じ取ることができる。</p> <p style="text-align: right;">（方法：発言・ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に聴いたときと，最後に聴いたときの感じ方の違いに気付けるような声かけをする。</li> </ul>             |
| <p>6. 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは難しい曲だと感じていたけど，少しずつ曲のよさが分かるようになってきて楽しかった。</li> <li>・楽譜では分からない間の取り方が面白いと思いました。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・和楽器の音楽のよさや曲の聴き方が変化したポイントを共有し，これからの鑑賞に生かしていけるようにする。</li> </ul>  |